

2026年1月30日

消化器外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「潰瘍性大腸炎や家族性大腸腺腫症（特に大腸癌併発）に対する大腸（結腸）全摘術に関する検討(Retrospective Study)」への協力のお願い

消化器外科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象： 2006年4月1日～2028年3月31日に大腸全摘術を施行した（施行されるであろう）33例を対象とします。

研究期間： 研究機関の長の研究実施許可日～2029年3月31日

研究目的・利用方法：

潰瘍性大腸炎や家族性大腸腺腫症（特に大腸癌併発）に対する大腸（結腸）全摘術に関する安全性の短期成績、腫瘍学的再発や生存についての長期成績を検討し、治療成績をまとめます。大腸（結腸）全摘術には①永久的回腸瘻②IAA (Ileal J-pouch anal anastomosis: 回腸囊肛門吻合) ③IACA (Ileal J-pouch anal canal anastomosis: 回腸囊肛門管吻合) ④IRA (ileo-rectal anastomosis: 回腸直腸吻合術) があります。最近では腹腔鏡補助下で行うこともあります。現状の治療方法、治療成績を把握することが重要です。

研究に用いる試料・情報の種類：

年齢、性別、診断名、罹患歴（年）、大腸癌の有無、大腸癌の局在、ステージ、術式、手術時間、出血量、入院期間、術後合併症、術後病理検査結果、再発の有無、再発形式、組織型、他病変の有無、腫瘍マーカー、予後、肛門機能、肛門機能改善対策

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果

の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科

電話番号 : 058-230-6233

氏名 : 松橋 延壽

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科外科学講座消化器外科・小児外科学分野

氏名 : 松橋 延壽

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel : 058-230-6059

E-mail : rinri@t.gifu-u.ac.jp